

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公表番号】特表 2019-501802 (P2019-501802A)

【公表日】平成 31 年 1 月 24 日 (2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-003

【出願番号】特願 2018-533818 (P2018-533818)

【国際特許分類】

B 3 2 B 3/30 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

B 3 2 B 27/38 (2006.01)

B 3 2 B 7/12 (2006.01)

G 0 2 B 5/124 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 3/30

B 3 2 B 27/00 D

B 3 2 B 27/30 A

B 3 2 B 27/38

B 3 2 B 7/12

G 0 2 B 5/124

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の材料を含み、かつ互いに反対側の第 1 主表面及び第 2 主表面を有する第 1 の微細構造化層であって、前記第 1 主表面が、微細構造化表面であり、前記微細構造化表面が、山部及び谷部を有し、前記山部が、微細構造特徴部であり、前記微細構造特徴部のそれぞれが、前記それぞれの微細構造特徴部の前記山部と隣接する谷部との間の距離により画定される高さを有する、第 1 の微細構造化層と、

接着剤材料を含み、かつ互いに反対側の第 1 主表面及び第 2 主表面を有する第 2 の層であって、前記接着剤材料が、(メタ)アクリレート及びエポキシを互いの存在下で含む混合物の反応生成物を含み、前記第 2 の層の前記第 2 主表面の少なくとも一部分が、前記第 1 の層の前記微細構造化された第 1 主表面の少なくとも一部分に直接貼り付けられている、第 2 の層とを備える物品。

【請求項 2】

前記第 1 の微細構造化層の前記微細構造特徴部のそれぞれの一部分が、前記第 2 の層の前記接着剤材料内に、少なくとも部分的に貫入している、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

前記混合物の総重量に対して、前記(メタ)アクリレートが、5～95重量パーセントの範囲で存在し、前記エポキシが、5～95重量パーセントの範囲で存在している、請求項 1 または 2 に記載の物品。

【請求項 4】

前記（メタ）アクリレート及び前記エポキシが、同じ分子上に存在している、請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の物品。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の物品の作製方法であって、

（メタ）アクリレート及びエポキシを互いの存在下で含む混合物を含み、かつ互いに反対側の第 1 主表面及び第 2 主表面を有する、第 1 の層を準備することと、

前記（メタ）アクリレートを少なくとも部分的に反応させることと、

互いに反対側の第 1 主表面及び第 2 主表面を有する第 1 の微細構造化層を、前記第 1 の微細構造化層の前記第 1 主表面が、前記第 1 の層の前記第 2 主表面に貼り付けられるように積層することであって、前記第 1 の微細構造化層の前記第 1 主表面が、微細構造特徴部を有する微細構造化表面であり、前記第 1 の微細構造化層の前記第 1 主表面が、前記第 1 の層の前記第 2 主表面に貼り付けられることと、

前記エポキシを少なくとも部分的に反応させることとを含む、方法。